

第20回 萩元晴彦ホームタウンコンサート

クアルテット界の至宝
ジュリアードサウンドを飯田で

©Erin Baiano

ジュリアード 弦楽四重奏団 Juilliard String Quartet Cavatina

2023年 10月22日(日)

14:00開演 [13:30開場]

飯田文化会館ホール

全席指定

一般：5,000円 学生：2,000円

(大学生以下)

PROGRAM | 演奏曲目

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第13番

ヴィトマン：弦楽四重奏曲 第8番*

ヴィトマン：弦楽四重奏曲 第10番「カヴァティーナ」*

ベートーヴェン：大フーガ

*ジュリアード弦楽四重奏団委嘱作品 commissioned for Juilliard String Quartet

※未就学児のご入場はご遠慮ください。託児コーナー(無料)を用意しますので、ご希望の方は10月13日(金)までに飯田文化会館事業係までお申し込みください。[定員あり・先着順]
※公演中止の場合を除き、ご購入後のチケットの変更、キャンセルは一切お受けできません。

チケット一般発売日：8月22日(火)

■友の会会員先行予約【会費無料・会員受付中】

7月14日(金)～31日(月)

プレイガイド

■飯田文化会館

窓口/8月22日(火) 9:00～

電話/8月22日(火) 11:00～ TEL.0265-23-3552

■チケットオンライン「いいチケ」

8月22日(火) 11:00～

<https://p-ticket.jp/iida>



■平安堂 飯田店・座光寺店

8月22日(火) 10:00～

[主催] 飯田信用金庫 / 飯田文化会館 / 萩元晴彦ホームタウンコンサート実行委員会

[後援] 信濃毎日新聞社 / 中日新聞社 / 南信州新聞社 / TSBテレビ信州
飯田ケーブルテレビ / 飯田エフエム放送 / オーケストラと友に音楽祭実行委員会
下伊那教育会 / 下伊那教育音楽研究会 / 飯田文化協会

[協力] ホームタウン友の会

[企画制作] テレビマンユニオン

「伝統と革新」を体現する音楽界の至宝 ”ジュリアード弦楽四重奏団”が再び飯田に!

世界の音楽界のトップを走り続ける絶対的存在ジュリアード弦楽四重奏団(JSQ)は、日本初の室内楽専用ホールとして1987年に開館した室内楽の殿堂、カザルスホールの10周年記念企画として1997年に招聘され、当時カザルスホールの総合プロデューサーだった萩元晴彦さんが飯田でのホームタウンコンサートでも取り上げました。

以来、2005年、2009年と訪れ”至高のサウンド”を響かせました。今回4度目となるJSQの飯田公演は、実に14年ぶり。

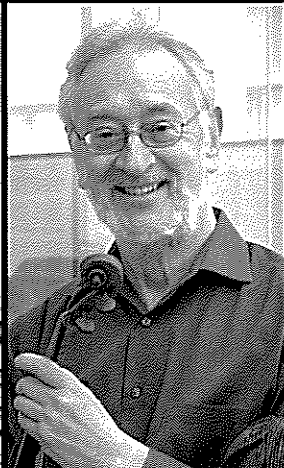
ツアー・タイトルは題して「カヴァティーナ」。

ベートーヴェンの作品の中でもとりわけ美しいとされる弦楽四重奏曲第13番第5楽章「カヴァティーナ」と、ドイツの気鋭ヴィトマンによる新作「カヴァティーナ」(2022年10月アメリカにて世界初演)という対比はJSQならではのラインナップと言えます。約200年の時を超えて、伝統(ベートーヴェン)と革新(ヴィトマン)〈2つのカヴァティーナ〉がステージ上でひと繋ぎになる瞬間。

この機会を見逃さないよう是非お越しください。



ヴァイオリン
アレタ・ズラ



ヴァイオリン
ロナルド・コープス



ヴィオラ
モリー・カー



チェロ
アストリッド・シュウィーン

Juliard String Quartet ジュリアード弦楽四重奏団

比類なき芸術性と不朽の活力で、ジュリアード弦楽四重奏団は世界中の観衆を魅了し続けている。1946年に創設、米紙ポスト・グローブで「我が国の弦楽四重奏団史上、最も重要な存在」と評された同団は、古典作品にたゆまぬ探究心を傾けると同時に、新しい作品にも果敢に取り組み、伝統を守りつつ大胆な挑戦をするという姿勢を貫いてきた。彼らが届けるのは常に、唯一無二の音楽。それは4人に共通する、作品に対する深い洞察と全身全霊の傾注、そして弦楽四重奏という芸術に潜む驚嘆を分かち合いたいという飽くなき好奇心の結実である。

2022/23シーズン、ジュリアード弦楽四重奏団は、イタリア、ドイツ、チェコを含むヨーロッパツアーで始まった。ドイツの気鋭の作曲家イェルク・ヴィトマンの2つの弦楽四重奏曲は、ベートーヴェンの後期四重奏曲と並んで演奏されるよう作曲され、初演され、日本ツアーでも披露される。

多数の名盤を誇るその名高いディスコグラフィに加え、2021年4月にはソニー・クラシカルからベートーヴェン、バルトーク、ドヴォルザーク

を収録したアルバムがリリースされ、高い評価を得た。さらに、ソニー・マスターワークスから2021年6月に創立75周年を記念したCD16枚によるセットBOX「The Early Juilliard Recordings」がリリースされた。

バルトーク、シェーンベルク、ドビュッシー、ラヴェル、ベートーヴェンの弦楽四重奏曲はグラミー賞を受賞し、2011年、全米レコード芸術科学アカデミーからクラシック音楽のアンサンブルとして初めて生涯功労賞を授与されている。

各メンバーは教師としても優れており、ツアー中もマスタークラスや公開リハーサルを実施している。レジデンスであるジュリアード音楽院では弦楽および室内楽の教授を務めており、受講を希望する者が後を絶たない。毎年5月に開催している5日間に及ぶセミナーは国際的にも注目を集めている。また夏には、タンゲルウッド音楽祭では学生たちとともに弦楽四重奏のための集中講座を行っている。

萩元晴彦 ホームタウン コンサートとは

「ふるさとも一流の音楽を」と飯田市出身のプロデューサー故萩元晴彦さんが提唱し、企画されているコンサートです。平成8年より室内楽の感動を多くの方に届けてくれましたが、萩元さんは平成13年逝去されました。私どもは萩元さんの理念を引き継ぎ、コンサートを続けてまいります。

～ホームタウンコンサートの音色が末長く響きわたり、天国の萩元さんへも届きますように～

